

Styling Kit KG-06

マフラーガーニッシュ No.MKG2400A

取付・取扱説明書

AutoExe

A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2丁目15番8号
TEL: 03-6458-7251 FAX: 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ“スタイリングキットKG-06”をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は当製品を車両に組付ける前に行う作業、組付ける際の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付けの際には、内容を理解された上で正しい取付けを行ってください。また、作業終了後には本書を必ずお客様にお渡しください。

ご注意 ※当製品の装着に際し、以下の注意事項を厳守してください。

1. 本書に記載する説明にしたがって作業を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の加工・改造・分解および、車両の改造は行わないでください。
2. 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方は自動車整備を専門に3年以上経験されている方、または当該経験者の監督下で作業が可能な方を原則とします。
3. 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダ㈱発行の整備書を参照して作業を行ってください。
4. 下記に記す適合車種以外には絶対に取付けしないでください。
5. 製品の浮きや剥がれ防止のため、両面テープ接着時は十分に圧着してください。また、取付作業後24時間以内に洗車や雨天走行は絶対に行わないでください。

適合車種

CX-8 (KG系) 弊社製スポーツマフラー [部品番号: MKG8Y50/MKG8Y60] 装着車

構成部品

No.	部品名称	仕様	数量	No.	部品名称	仕様	数量
①	マフラーガーニッシュ	AES製(ブラックシボ加工)※塗装不要	1set	⑤	両面テープ	t3×10mm×10cm	1
②	トラスボルト	M5×12mm	4	⑥	PACプライマー	K500	1
③	フランジナット	M5	4	⑦	コードクリップ		1
④	タッピングビス	M4×12	1	⑧	型紙		1set

本書はハンズフリー機能付きパワーリフトゲート付き車に対する作業を解説しています。
当該車以外の場合は、作業手順1～8、14、17～21は不要です。
また、構成部品④、⑤、⑦も不要となります。

装着手順

1. 整備書を参照し、バッテリーのマイナス端子を外します。
2. 整備書を参照し、リアバンパーを取り外します(フット・モーション・ディテクション・ユニットの移設)。
3. 図1を参照し、フット・モーション・ディテクション・ユニット格納部下のファスナーを取り外します。
4. 図2を参照し、フット・モーション・ディテクション・ユニット上下のツメの嵌合を外し、ユニットを取り外します。
5. 図3を参照し、フット・モーション・ディテクション・ユニットからグレーの配線を切り離します。
6. ⑤両面テープを、3.5cmを2本、3cmを1本にカットし、図4を参照し、3.5cmの両面テープ2本をフット・モーション・ディテクション・ユニットの裏側に貼り付け、離型紙を剥がします。
7. 図5を参照し、カバーにフット・モーション・ディテクション・ユニットを貼り付けます。
8. 図6を参照し、④タッピングビスを使用し、カバーにフット・モーション・ディテクション・ユニットを固定します。
9. 図7を参照し、⑧型紙をリアバンパーに貼付け、図示部分を切除加工します。※切除加工後は、切除部周囲のバリを除去してください。
10. 図8を参照し、リアバンパーに①マフラーガーニッシュを宛がい慎重に位置決めしながら、①マフラーガーニッシュ下面両側2ヶ所の穴位置に合わせて、リアバンパーに穴開け位置をマーキングします。
11. ①マフラーガーニッシュを一旦取外し、図10を参照し、リアバンパーのマーキング位置にφ6の穴開け加工をします。
△ ドリルの刃にはガムテープ等を巻き、貫通防止策を必ず施してください。※穴開け後は加工部位に残ったバリを除去してください。
12. ①マフラーガーニッシュの裏側と車両の両面テープ貼付け面を洗浄脱脂し、⑥PACプライマーを塗布し十分に乾燥させます。
※変色防止のため、PACプライマーを塗布した際にはみ出した部分は必ず拭き取ってください。
13. 図9を参照し、①マフラーガーニッシュ裏側の両面テープ離型紙の一部を剥がします。
14. 図10を参照し、リアバンパーとカバーを⑤両面テープ(3cm)を使用し固定します。
15. 図11を参照し、①マフラーガーニッシュを車両に宛がい、②トラスボルトと③フランジナットで仮止めします。
16. ①マフラーガーニッシュの位置がずれないように十分に注意しながら両面テープの離型紙を図示矢印の方向へ慎重に引き抜きます。
※外気温度が15℃以下の場合は両面テープおよび取付け面をドライヤー等で40℃前後に加熱してから取付けてください。
17. 両面テープの接着面を十分に圧着してから下面4箇所の②トラスボルトと③フランジナットを本締めします。
18. フット・モーション・ディテクション・ユニットにグレーの配線をつなぎます。
19. 図12を参照し、⑦コードクリップ裏側の両面テープ離型紙を剥がし、左側の①マフラーガーニッシュ裏側に貼り付け、グレー配線を配線します。
20. 整備書を参照し、リアバンパーを車両に復元します。
21. バッテリーのマイナス端子(締付けトルク4.0N・m～6.0N・m)を取付け作業完了です。

図1 フット・モーション・ディテクション・ユニットの移設準備

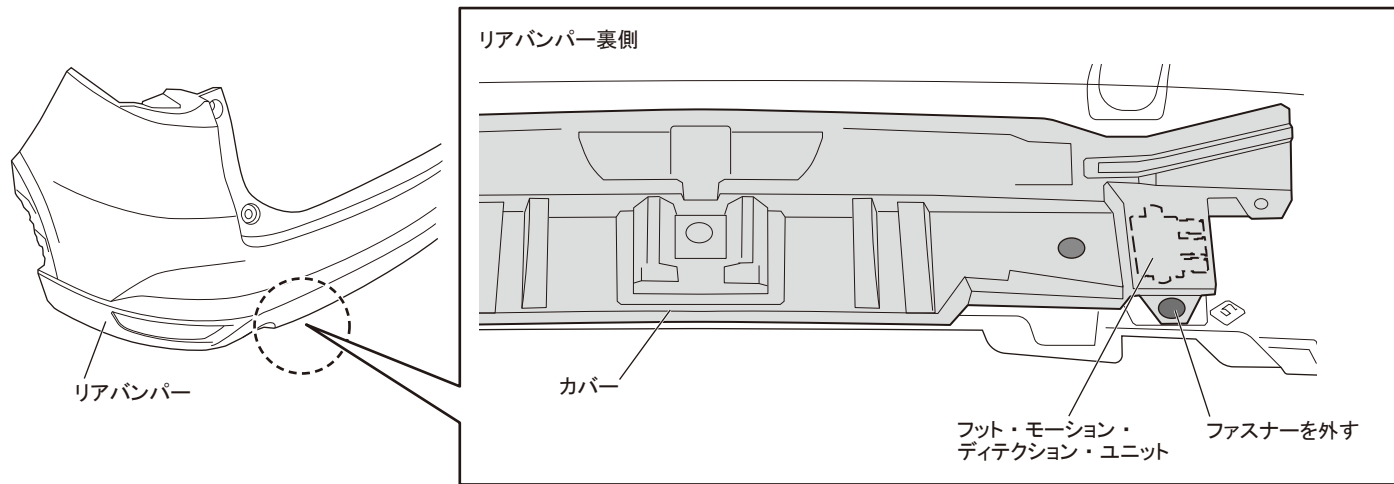


図2 フット・モーション・ディテクション・ユニット取り外し

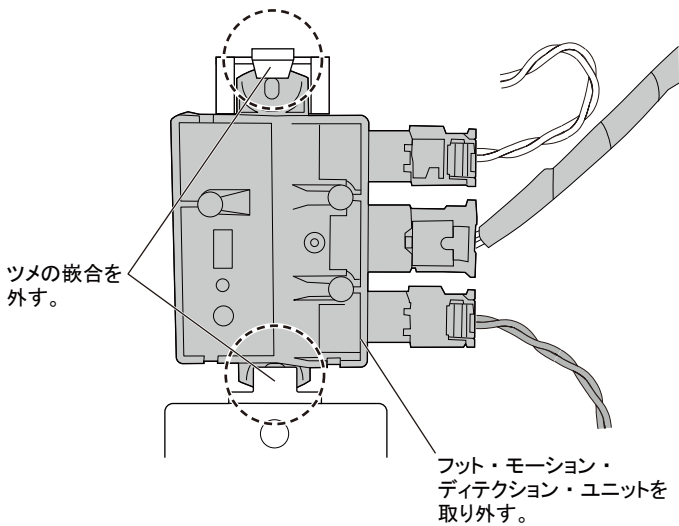


図3 グレー配線切り離し

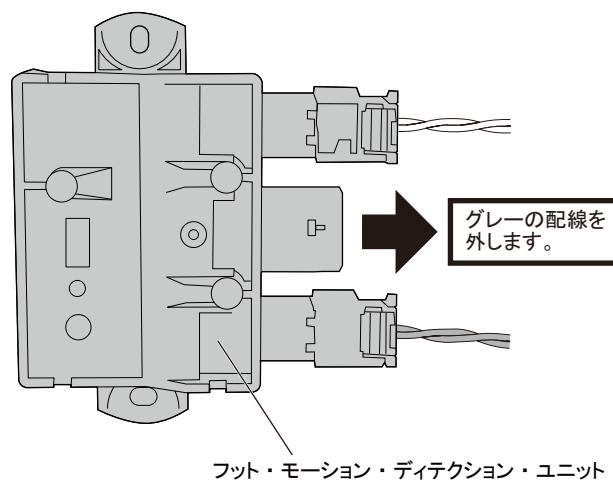


図4 フット・モーション・ディテクション・ユニット両面テープ貼り付け

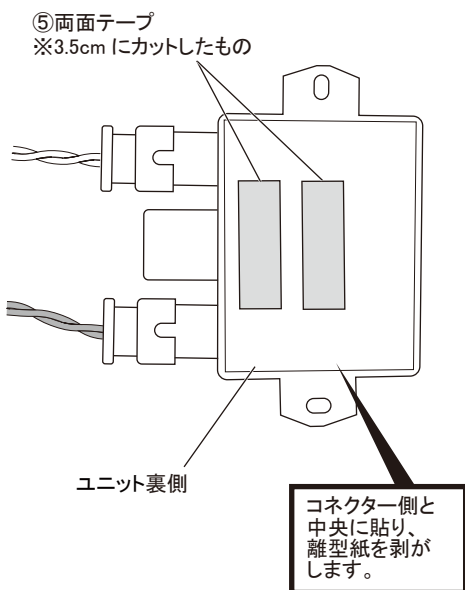


図5 フット・モーション・ディテクション・ユニット貼り付け

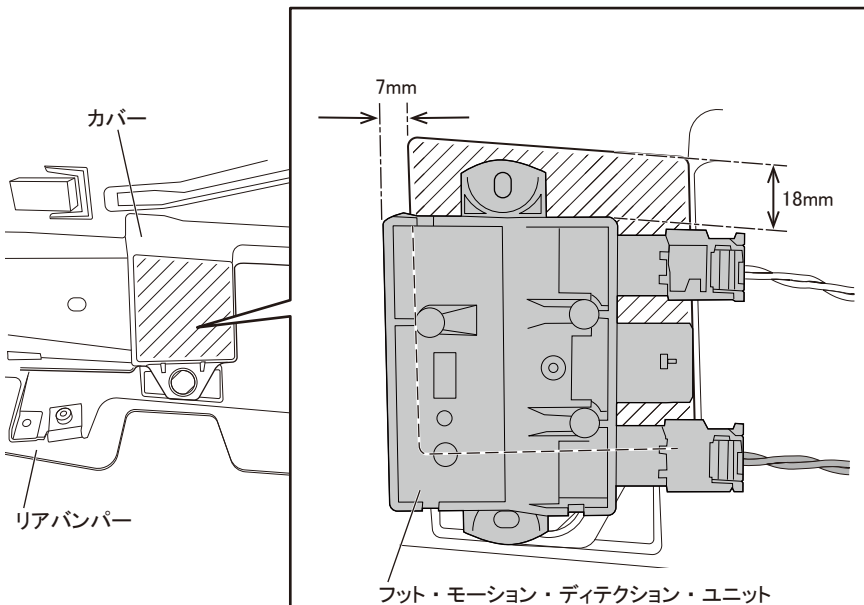


図6 フット・モーション・ディテクション・ユニット固定

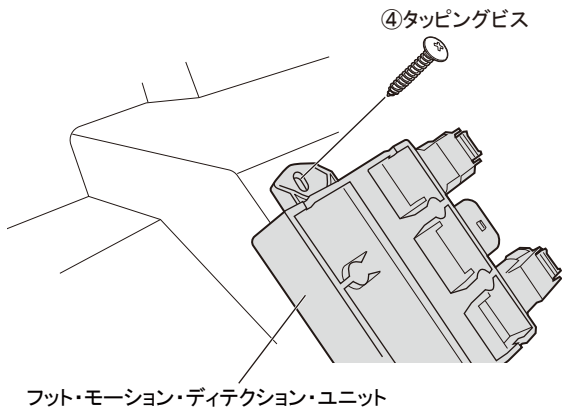


図7 リアバンパー切除加工

※図は右側です。左右同作業

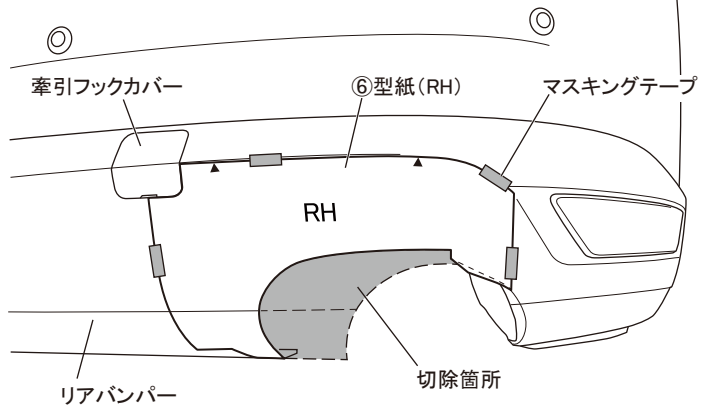
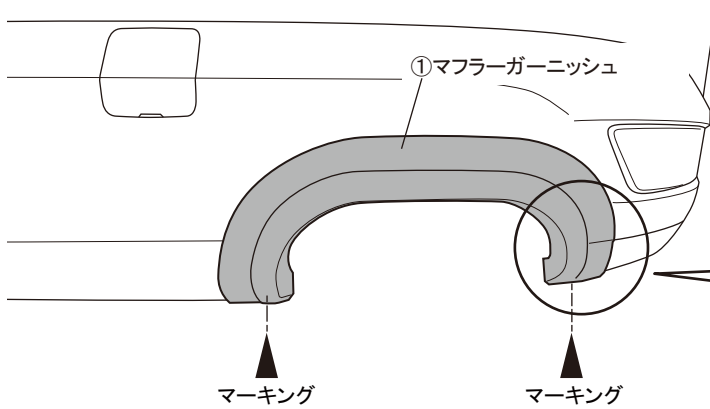


図8 リアバンパー穴開け

※図は右側です。左右同作業



【取付け位置基準】

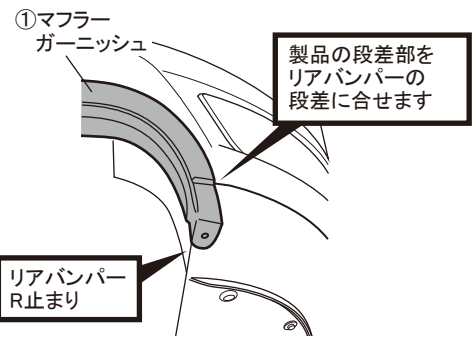


図9 両面テープ離型紙をめくる

※図は右側です。左右同作業

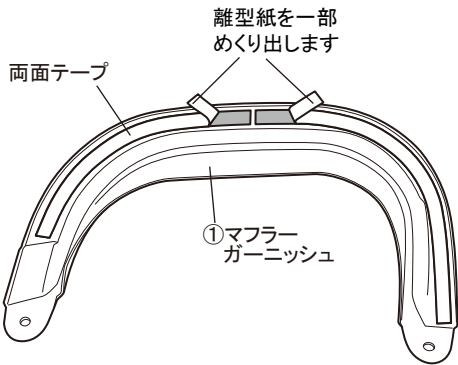


図10 カバー固定 ※左側のみ作業

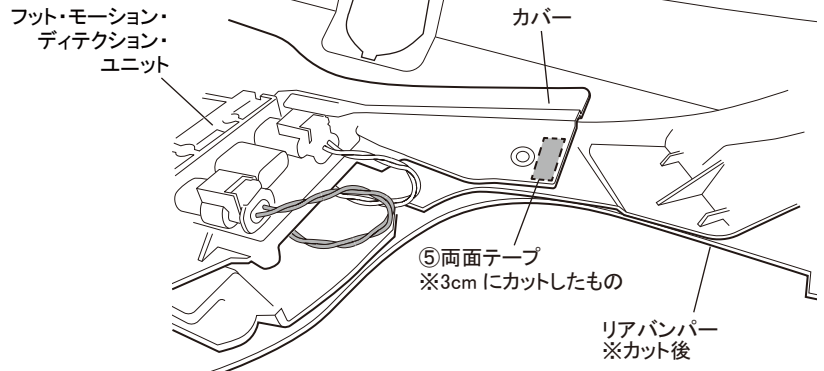


図11 ①マフラーガーニッシュ取付け ※図は右側です。左右同作業

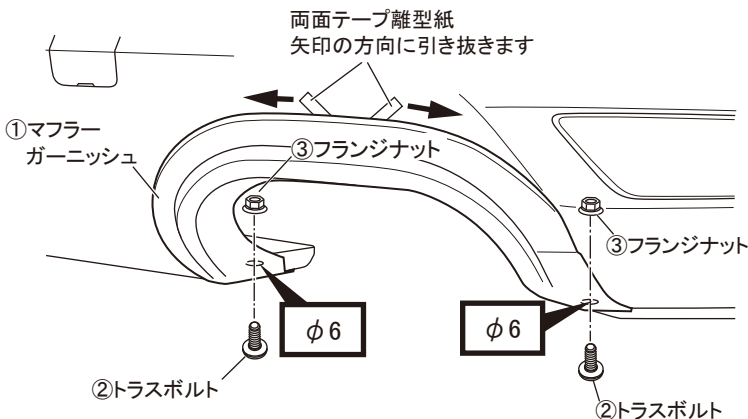


図12 コードクリップ貼り付け

※ マフラーガーニッシュ左側のみ作業

